'06　12月号　No. 650

# 京交山岳部報

| 例会・行先 | 日程・集合 | 担当者 | コース |
|---|---|---|---|
| 第２５０２回★<br>立木観音～<br>醍醐山 | 12月９日（土）<br>７：00<br>地下鉄東西線<br>三条京阪駅<br>改札口集合 | 清水　康裕 | 地下鉄三条京阪駅－京阪石山寺駅－(京阪バス)－立木観音…岩間山…笠取山…上醍醐…下醍醐…地下鉄醍醐駅 |
| 備　考　参加希望者は担当者まで連絡をしてください。 | | | |
| 第２５０３回★<br>音羽山～高塚山 | 12月２日（土）<br>８：00<br>京阪京津線<br>大谷駅集合 | 清水　康裕 | 大谷駅…音羽山…高塚山 |
| 備　考　参加希望者は担当者まで連絡をしてください。 | | | |
| 第２５０４回★★<br>納山際<br>金毘羅山・翠黛山・焼杉山 | 12月16日（土）<br>～17日（日）<br>８：00<br>壬生厚生会館前 | 吉田　　武<br><br><br><br>岡本　義弘 | １日目　壬生－大原　寂光院「大原の里」…野村別れ…江文峠…金毘羅山…翠黛山…焼杉山…大原の里<br>２日目　大原の里－江文神社馬場跡(駐車)…寒谷峠…瓢箪崩山…長谷…井出町…江文神社馬場跡 |
| 備　考　宿舎「大原の里」，費用 12,000円，日帰り登山装備，昼食は各自持参<br>参加希望者は12月10日までに担当者まで必ず連絡してください。 | | | |
| 第２５０５回★<br>初登山<br>猪背山（553m） | 平成19年１月６日（土）<br>８：00<br>竹田駅西口集合 | 井戸　澄夫<br><br>清水　康裕 | 京都東IC－瀬田西IC－R422－富川(駐車)…山ノ神…猪背山…納所－R422－石山－R1－京都－壬生厚生会館前 |

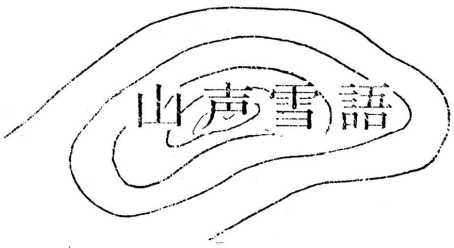
| | | | |
|---|---|---|---|
| | | 堀田　　剛 | |
| 備　考　山頂でぜんざいをしますので，各自餅をお願いします。<br>参加希望者は担当者まで連絡してください。 | | | |

## 今月の集会

日　時　　12月11日（月）18：30～
場　所　　厚生会館　４Ｆ　大教室

## 企画運営委員会

日　時　　12月19日（火）18：30～
場　所　　厚生会館　４Ｆ　六角会議室




今春から職場が変わり，毎日の通勤がてら京都御苑を散策している。京都御苑は市内では最大級の緑地施設であり，四季折々の花と木々の移ろいを楽しむことができる。江戸時代までは御所を取り囲むように公卿の屋敷があったが，明治維新で天皇とともに東京に移転してしまい，その跡地を現在のように植栽を整えて市民の憩いの場としたのである。遅れていた紅葉もいよいよカエデが色づきはじめ，京都がもっとも観光客で賑わう時期になる。この観光シーズンに今出川通りでは，バス車両を使ったＬＲＴの実験をする。交通渋滞を回避できる方策があるのか興味深いところである。

腎臓移植をめぐって，ガン患者の腎臓を移植したという１人の医師の行為が問題となっている。日本で腎臓を患い人工透析をしている人は約24万人である。このうち腎臓移植を希望する人は約１万２千人おり，この１年で実際に移植手術できたのは162名である。このような状況の中で，金持ちは海外へ行って臓器を買ったり，あるいは親や親類が必死になって寄付金を集めたりしている。1997年に「臓器移植法」が成立し，脳死からの移植ができるようになったが，臓器提供の意思表示カードを所有する人は約10％であり，この１年の死者のうち意思表示カード所有者は1,154名ということである。腎臓病の大半は糖尿病からきており，糖尿病の原因の大半は贅沢な食生活からというのが定説であるが，１度かかると治らないといわれ，人工透析を続ける苦しさは想像するだに傷ましい。前記の医師は１人でも多くの患者を苦しみから救いたいという一念から，ガン部位を除いた腎臓を使用したということであるが，倫理上からは正常な部分は元の患者に戻すのが筋らしい。国のほうでこうしたケースの指針を作るとのことであるが，それまではこの医師に頼って移植を待っている患者は更に待ち続けることとなりそうだ。日本人は他人の不幸には関心の薄い国民といわれる。それは宗教心の薄さに起因するという説もあるが，欧米に比べて極端に臓器提供者が少ないことが諸問題の根底にある。小生も関心の薄い日本人の一人であったが，それではいけないと思うので早速ドナーの意思表示カードを所持することにしようと思う。

今年の納山祭は12月16～17日に大原で，初登山は１月６日に猪背山，新年会は１月11日に烏丸四条下ルの「かごの屋」である。ふるって参加しよう。　　（H．18．11．19．記　S.I.）

【第２４９８回例会】

「京都府山岳連盟自然保護委員会　秋の自然観察会」

# 宝が池のきのこ観察会

方　山　宗　子

10月29日（日），お天気は快晴で今年も地下鉄国際会館５番出入り口に集合です。

京都府山岳連盟自然保護委員会主催の「きのこ観察会」も新聞によるＰＲの効果もありますが，各山岳会も例会を組み，毎年，参加者が増えてきています。

「きのこ観察会」も，かっては山道を分散して歩き，採集したきのこを持ち寄り，講師の先生が食用きのこや，毒きのこ等と分類し観察するのが中心でしたが，昨年からはフィールド観察を主とし，生えている状況を中心として観察するように，観察会の内容が変わってきています。昨年はきのこが直径２ｍほどのリング状に生えているフェアリーリング（妖精の踊り場）というものも観察できました。

今年はフェアリーリング（妖精の踊り場）は観察できませんでしたが，講師の先生（関西菌類談話会所属）持参の「トリフ」をかじって味を見たり，見つけた「冬虫夏草」も触ってみたりで，見るだけでなく体感もできるようになり，それにきのことは何ぞや，植物，動物の生物の自然界におけるきのこの役割等，興味ある話が聴け，きのこを急に身近に感じるようになってきました。毎年のように観察会の内容も充実してきています。

日本は温暖湿潤で植生も豊富で，きのこは「木の子」の意味であり，それだけにきのこの種類も多く，毎年研究は進んでいるものの，名前のあるきのこは約1,500種類，まだ，名前もついていないきのこはその２倍程度あるのではとのことです。

きのこの種類を見分けることは非常に難しいようです。図鑑に載っている写真は，きのこのある一瞬を撮影したもので，きのこの仲間等の大きな分類は少し慣れてくれば判るようですが，正確に種類を見分けるのは本当は難しいそうです。

ところで，きのことは何者でしょう。私たちは生物とは植物，動物の２種であると学校で習いましたが，最近は植物，動物とそれに肩を並べる大きな生物群として「菌類」すなわち「きのこ類」が生物学では認識されてきています。

食べられるきのこと毒きのこ，見分ける方法はあるのでしょうか。本当はありません。「色の派手なきのこは毒」「柄が縦に裂けるきのこは食べられる」「虫の食べ痕があるきのこは食べられる」，ぜぇーんぶ迷信だそうです。きのこは口にしただけで死ぬ猛毒のものは無いので，口に含み噛んでみて，刺激のあるもの，辛いもの，ぴりぴりするものはだめということです。やはり，スーパーで売っているものに限るほうが無難ですね。

毎回，色々なきのこに出会えて楽しくなります。是非，観察会に参加して下さい。新しい世界が開けます。

【参加者】岡田茂久，坂田利春，方山宗子，他53名

【第２４９９回例会】

# 扇ノ山（２等△1,309.9）

井　戸　澄　夫

山では秋も深まりを見せ，紅葉前線も南下してきたということで，紅葉の見頃の扇ノ山に登ることとした。諸先輩に聞くと，扇ノ山はアプローチが長く，随分とハードルの高い山だったようである。しかし今では，林道が山頂直下まで延びて，手軽な日帰りハイキングができる。天気は絶好の秋晴れであった。

中国道から播但道を通ると早いと考え，集合時間も少し遅くしたが，宝塚付近で恒例の渋滞にひっかかり登山口まで５時間もかかった。やはり素直に国道９号線から行けばよかった。登山口の畑ガ平は標高1,010ｍであり，さすがにここまで登れば山全体が赤や黄色に燃え上がっている。はるばる京都からやってきたかいがあるというものである。頂上へはゆっくり登って１時間である。山頂からは氷ノ山や日本海がきれいに見えた。山頂には立派な避難小屋があり，スキー登山で麓から登ってきた時には，本当に役に立つ施設であるらしい。

帰路，湯村温泉の薬師湯で汗を流した。湯村は久方ぶりであるが，夢千代を看板に盛況であった。夕食は養父で但馬牛を堪能した。驚いたのは和田山から舞鶴自動車道の春日ＩＣまで高速道路が開通していることである。ごく最近のことらしいが，時勢を反映してかＰＲらしいものはほとんどなかったようである。篠山から亀岡回りで帰洛したが，思ったより早く帰れてよかった。

【コースタイム】11月３日（祝）

竹田駅西口集合７：40 －(中国道，播但道)－ 和田山ＩＣ －13：00 畑ガ平（昼食）13：30…14：30 扇ノ山頂上 14：45…15：30 畑ガ平－湯村温泉（入浴）17：30－養父道の駅（夕食）－和田山ＩＣ －(高速)－ 篠山ＩＣ －(亀岡経由)－ 千代川ＩＣ－(京都自動車道)－ 21：30 京都市内（順次解散）

【参加者】岡田茂久，渡辺智生，三橋　勉，森本清一，堀田　剛，井戸澄夫

# 「のじぎく兵庫国体」山岳競技に参加して

縦走競技Ｔ１主任審判員　　吉　田　　武

兵庫国体に集う人々がみな全力を発揮して「のじぎく」のように共に美しく輝くようにと願いをこめて開かれました第61回「のじぎく兵庫国体」。

開会式場であるポートアイランド国際会議場に行く道路，建物が見違えるほど整備され「阪神，淡路大震災」からの復興はすばらしいテンポで進んできたと感じました。

９月30日に選手受付と監督会議が行われました，質問書は１チームのみで質問も少し規則集を読んでいただければ解る様な質問や基本的な競技の確認の質問でした。

ただ今回の縦走コースは都市型国体のためにスタートは新幹線新神戸駅近くの布引中学校の校庭からのスタートでした。自動車道路や生活道路が縦横無尽にあり，交差点が沢山ある為により以上に選手に気を使いました。

ゴールは麻耶山掬星台の広場で，夜には日本三大夜景の一つになっています。

10月１日，Ｔ１競技が行われる日です，曇り空の下で大会会長トロフィー返還式が速やかに終わり，早速，縦走競技の開始通告を行いました。

選手確認や健康チェックも何事も無く進み，本計量の呼び込みもスムーズに行われ，重量不足の選手も無く各審判員も気持ちよく業務についていました。

いよいよスタート，選手はリラックスしているが僕のほうが緊張しました，スタート合図はやはりピストルのような音がほしいと思った。

一斉のスタートの為に94名がグランドから上手く出られるだろうかと心配しました。フライングはしないでくれ，校庭の出口の門扉ストッパーに躓かないでくれ，と心に思ったが「案ずるより生むがやすし」何事も無く選手は校門を出て行きました。通過確認からの連絡も刻々と入ってきましたが，通信書類の多さにはびっくりしました。

スタートから50分ぐらいで雨が降ってきたので足元が不安定になりトラブルが起こらないかと心配しましたが，このコースで50分を切る選手が４名おられました。最高タイムは48分06秒でした，50分03秒が１名と大変良い成績でした。

そして選手の過半数が１時間を切っていました，これも日頃の練習の成果と思った。チーム成績は１位が神奈川県で２名の合計タイムは１時間39分12秒２でした。２位は福島県でタイムは１時間40分30秒５，３位は地元兵庫県でタイムは１時間41分23秒，……８位入賞した岩手県も１時間46分00秒７と素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。

来年の秋田国体で縦走競技も最後です，来年も最後を飾るのにふさわしい高いレベルの競技をしていただきたいと思います。

僕自身，本国体の副主任審判と主任審判を３度やらしていただきましたが，いよいよ来年で縦走競技も終わりクライミングとボルタリングのみの山岳競技になります。大変残念です，踏査競技の廃止になったときよりも残念な気持ち中で神戸を後にしました。

# 部員動静

| 目的地 | 月日 | 参加者 | 記事 |
|---|---|---|---|
| 川上岳<br>（かおれ） | 10月28日<br>～29日<br>晴れ | 廣瀬光太郎<br>清水　康裕<br>堀田　剛<br>井戸　澄夫<br>他１名 | 高山の民宿で泊まり，紅葉の川上岳に登った。 |

# 例会報告

| 例会No. | 目的地 | 月日 | 天候 | 担当者 | 参加者 | 記事 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2498 | きのこ観察会<br>岳連自然保護委員会 | 10月29日 | 晴 | 方山　宗子 | 岡田　茂久<br>坂田　利春<br>他53名 | (別稿詳報) |
| 2499 | 扇ノ山 | 11月3日 | 晴 | 井戸　澄夫 | 岡田　茂久<br>渡辺　智生<br>三橋　勉<br>森本　清一<br>堀田　剛 | (別稿詳報) |

# 雑報

△△△　11月の集会

日　時　11月9日（木）18：30～
場　所　厚生会館　4F　大教室
出席者　井戸，吉田，大倉，三橋，和田，坂井，方山，堀田
内　容　例会予告，例会報告，個人山行，岳連関係報告ほか

△△△　10月の企画運営委員会

日　時　10月25日（水）18：30～
場　所　厚生会館　4F　六角会議室
出席者　井戸，吉田，方山，清水，堀田
内　容　例会予告，岳連関係報告，ほか
スノーシューを5セット購入することを決定した。

△△△　他山岳部の会報（受贈分）

10月号　比良山岳，京都山岳，趣味の登山，わっぱ
11月号　京都山岳，青嶺，趣味の登山，一等三角點

△△△　平成17年１月集会兼新年会のお知らせ

日　　時　　平成17年１月11日（木）18：30～
場　　所　　四条烏丸下がる地下鉄四条駅６番出入口「かごの屋」TEL 075-353-8936
会　　費　　4,000円（当日徴収）
担　　当　　清水　康裕（外253-6160，内694）
　　堀田　　剛（外822-9322，内739）
備　　考　　参加希望者は１月８日までに担当者まで連絡ください。

△△△　平成18年度会費受領者について

前号までに掲載しました会費受領者に加えて，11月25日までに次の方々から受領しましたので報告します。

井上一夫，台川敦美，坂井久光，山田富男，大野滋久，井上恭彦，川原傳治，山元誠一

△△△　部費未納の皆様へ

平成18年度の部費を未納の方は，早急に納入されますようお願いします。

郵送あり：7,500円，郵送なし：6,000円